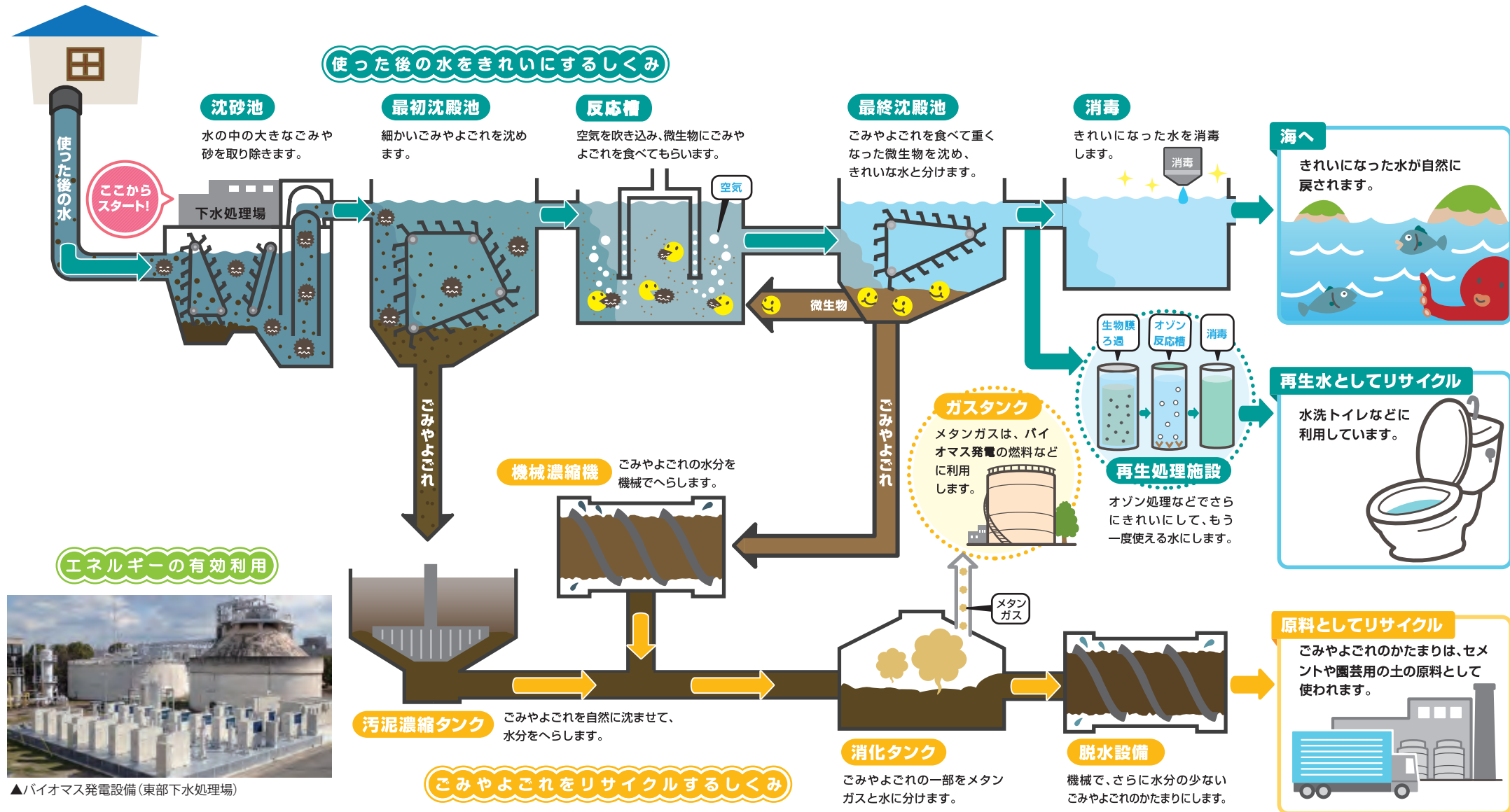


下水処理のしくみとリサイクル

汚れた水は、きれいにして自然に還します。

家庭や工場などから出された汚水をきれいな水にして海に放流したり、リサイクルしたりしていくのが下水処理場の役割。

高松市の下水処理場では、主に“標準活性汚泥法”を採用しています。汚水の中に高濃度の微生物（活性汚泥）を入れ、その分解力で有機物を処理し、処理の過程で発生する汚泥は、水分をある程度まで絞り、セメントや園芸用の土の原料として再利用します。



▲バイオマス発電設備(東部下水処理場)